

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2021年秋号 Vol.57



ベストな路線形で、道を拓く。

広く山から材を搬出できるように。
重機による伐採と搬出に配慮られるように。
私たちの仕事で重要度を増す、森林作業道。
生きた道は、その時の伐採時だけでなく、
数十年後にも生きてくる、大切な道だ。

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 25



「熱海の土砂災害に思う」

7月3日に熱海市で発生した土石流の映像はあまりにも衝撃的で今でも脳裏に焼き付いているのは私だけではないと思います。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますと同時に、犠牲となられた方のご冥福とそのご家族の皆様によりお悔やみ申し上げます。

今回発生した熱海での土砂災害は、工事中に発生した残土を谷筋の窪地に埋める際の盛土の工法が適切でなかったことが主要な原因と言われています。また尾根を削って造成されたメガソーラーが直ぐ横にあり、雨が降ると土砂を運ぶ水道(みずみち)になつてしまい水を制御できていない林道構造も原因の一つと指摘されています。どちらも、当組合では必要以上に山を傷つけないため細心の注意を払って施業をしており、このようなやり方はあつてはならないと思います。

残土を谷や沢の窪地に環境への配慮なく安易に埋めることは、安価で効率良く作業ができるため、現在のように地球環境保全への意識がそれほど高くなく開発行為が優先されていた時代は、このようなやり方が普通でした。しかし、沢や谷は地中と地上の水が集まる場所ですから、生物多様性においても、地質学的にも繊細なエリアであり、本来そのままの状態を保全保存していくことが望まれるエリアです。ですからそのような場所に、むやみに残土を埋めたり、伐採残木を無造作に投げ捨てたりして水を滞留、集中させてしまうようなことをするのは、生態系の観点からも防災の観点からも、あつてはならないことだと思います。

私は以前より指摘しておりますが、リニアは「命の水」問題だけでなく、リニア工事(南アルプスを貫通する25kmのトンネル掘削)により発生する大量の残土処理も大きな問題の一つです。残土処理のやり方を間違えれば今回、熱海で発生した悲惨な土砂災害を引き起こす可能性があるわけです。水を断たれ、生態系を壊され、災害危機にも襲われる、このようなことはあつてはならないと思います。壊された自然環境は一度と元に戻すことはできません。アフターコロナ禍、テレワークなど新しい生活様式が求められているなか、東京1名古屋間を50分で結ぶために自然環境を傷つけてまで南アルプスを25kmもの横穴を貫通させる必要があるのでしょうか??
そのような行為は自然に対する冒瀆であり人間のエゴだと私は思います。人間は自然に対しても少し謙虚であるべきだと思います。

「これいい!」 購買担当「リエさん」の オススメGOODS!! 〈剪定鋸〉



- 剪定鋸(替刃式)..... ¥3,190<税込>
キレイな切り口に仕上がりと、長時間作業でも疲れにくい超軽量パワーフィットグリップで作業効率アップ!ネジ1つで簡単に替刃交換できるので長くご愛用いただけます。
- 別売の替刃..... ¥1,914<税込>
竹・生木・仮柵用替刃にも交換可能です

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1

TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113

<https://www.kakemori.jp>



かけ森インタビュー⑦

森林作業道は時代とともに重要度が高まり、その品質が問われています。

私たちの現場には、施業用林道・作業道が整備されています。安全性や効率性を高めるため、大型重機による伐採や搬出が多くなっています。質の高い道づくりの重要性が増しています。今回はその大切な作業道の開設工事を専門にしているサカグチ造建のお二人に話を伺いました。

尾崎…サカグチ造建さんのおつきあいは、すでに20年近くになります。いまでは、当組合の森林作業道の開設作業を専門に依頼するようになっていきます。そもそも坂口さんのお宅は家業が材木店だったんですね？

尾崎…そうですね。道自体が丈夫で安全が保たれていて、機械の操作がしやすく、かつ広く山から材を集めることができる、そういう作業道が求められます。お二人ともご自身の経験から、木を伐る木を出す、それぞれの思考や傾向、作業と行動をよく理解していただいていますね。

坂口智…大雨で崩れたり、重機の重みで沈んだりしないように考え、森林組合さんが行う間伐作業やその後のことを自分の事として考え、あらゆる工夫をします。道を造るといいう責任は大きいですから。逃げられない仕事です。

尾崎…それが「坂口品質」ですね。組合職員がその後の作業に入るのに、お二人の心と技とセンスで仕上げてください。道なら大丈夫だという安心感があります。しっかりと道であれば、十数年後また次の施業でも活用できます。これからの良い道を造り続けてもらうためにも、私たちへの注文もぜひ聞かせてください。

坂口智…坂口材木店という屋号で山の仕事をしていたのですが、造園や土木、建設といった分野へ業務が広がって現在のような業態となり、父から私が引き継いで現社名に変えました。木を伐採する技術を持っていて重機も使えることから、森林組合さんが求める作業道づくりに向いてきた、ということでしょうか。今日もこうして道を造らせてもらっています。

坂口智…大木で崩れたり、重機の重みで沈んだりしないように考え、森林組合さんが行う間伐作業やその後のことを自分の事として考え、あらゆる工夫をします。道を造るといいう責任は大きいですから。逃げられない仕事です。

坂口智…強いて言うなら、組合職員の皆さんと今後も山や地形の情報共有を続けたいですね。事前踏査、その場所の「いわれ」も大切ですね。そうすることでリスクを回避し、ベストな路線形で道を拓くことができます。踏査で

尾崎…それが見通しを良くするために事前の下草を刈るのが必要になる場面もありますね。
尾崎…ありがとうございます。20年間、坂口さんに担ってもらっている作業道に関する知識、技能、そして道そのものが私たちの資産でもあります。ご兄弟独特の役割分担と連携プレイに磨きをかけて、若い組合職員たちを引っ張っていかせてください。



サカグチ造建
坂口 智久さん (代表) 右
坂口 誠一さん 左
聞き手: 尾崎 (参事)

森林組合所有林の果たす役割とは

所有林調査計画推進チーム

掛川市森林組合では、これまで約56鈔の森林を所有し、その管理・経営を進めてきました。昨年度(60期)、これに加えて原野谷川の源流部の森林、約137鈔を取得しました。様々な経緯の中で取得に至ったこの森林。今後は掛川の水脈であるこの水源の森林も適切に管理・経営していかなければなりません。

林の適切な保全と活用、組合事業の安定化、試験林的な活用、などの意味が考えられます。



今回この森林の取得をきっかけに組合所有林の調査計画推進チームを組織し、現地調査がスタートしました。中長期にわたる適切な計画を立て、先人たちが築いてきた森林資源の保全と活用を図っていきます。さて、森林組合が森林を所有することにはどのような意味があるでしょうか? 地域森

命になりつつある昨今では、組合員の森林施業を補完する形での所有林施業は、資源の供給や木材の供給の安定化に資すると考えます。また試験林的な活用では、新たな循環施業の実現を試行する場として、また新たな人材育成の場として有効に機能すると思われれます。



取得した森林の周辺状況



所有林の調査計画のために結成されたチーム

「組合員所有の森林の管理・経営、資産価値の向上」を基本とし、それを補完する形で所有林についても施業を行いながら、地域全体の森林の活性化を図ってまいります。引き続き組合員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

トピックス

森林プロフェッショナルとE・M・T・Bで行く掛川フォレストツアーの販売を開始!

これから森林は秋づき、霜の衣を羽織つて、やがて春色鮮やかな姿へと変わっていきます。そんな森林をE・M・T・B(電動アシスト付きマウンテンバイク)で颯爽と駆け抜け、その先で行われているダイナミックな林業を見てみませんか?

ツアーは10月~3月にかけて毎月1回ずつ開催予定です。先着順で既に満員となっている日程もありますので、早めのお申し込みをお待ちしております!



お申込はコチラ



お知らせ

第60回通常総会が終了

8月28日(土)に第60回通常総会が開催されました。昨年に引き続き組合員皆様の安全確保と感染拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となりました。出席26名、書面議決権行使156名の計182名の出席を得て、全議案が承認・可決されました。ご協力いただきましてありがとうございます。

今回も無事に事業報告ができました。組合員はじめ関係機関の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。また、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



総務経理課